

【担当教員名】 Rosalia Martinez	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前・後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

当クラスでは1年次に学習した英語によるコミュニケーション理論と技術を基に、さらに深い言葉への理解力とコミュニケーション能力を習得することを目指して行われる。
文学作品、映画、新聞記事等異なった素材で今日的な課題について学ぶことを通して、日本と欧米の文化・価値観の違いを理解するとともに、自ら考え、自分の意見をまとめ、他とのコミュニケーションを図ることをねらいとする。
質問や意見交換、グループ・ディスカッションなどへの積極的な参加が求められ、テーマに応じて外国人のゲスト・スピーカーも招待される予定である。(前・後期で扱う教材と内容は異なる。)

【学習目標】

1. 様々な素材を通して英語の世界に触れ、英語やコミュニケーションへの関心を育てる。
2. 与えられたテーマについて積極的に考え、自分の意見をまとめて伝える力を養う。
3. 日本と欧米の文化・価値観の違いとその特徴について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1~2	欧米のコミュニケーションについて	欧米のコミュニケーションの特徴と、その背景にある文化や価値観について理解する。		講義
3	英語によるコミュニケーションの基礎	Question-Answerプロセスの重要性とその方法について理解する。		講義と演習
4~7	英語によるコミュニケーション演習①	映画や新聞記事を素材に欧米の文化や価値観について学ぶ。		講義と演習
8	小テスト	これまでの学習についてどれだけ理解しているかを確認する。		テスト
9~12	英語によるコミュニケーション演習②	指定図書および外国人ゲストの講義を通して日本と欧米の文化の違いについて学び、そのことについて英語にまとめて発表する。		演習
13	小テスト	これまでの学習についてどれだけ理解しているかを確認する。		テスト
14	まとめ	学習のふりかえりまとめ。		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	使用しない			
参考書	授業中に適宜紹介する			
その他の資料	必要の都度配布する			

【評価方法】 出席・授業参加の態度・小テスト・定期試験等から総合的に評価する。	【履修上の留意点】 出席を重視する。また授業中は受け身でなく自ら進んで参加し、考え、質問する積極性を期待する。また英和および和英の辞書を必ず携帯すること。
--	--